

ジャパン・モダンの奔流展  
一戦後日本デザイン・復興から頂点へー



参考作品：パタフライツール（ローズウッド）  
写真提供：(株)天童木工

春

日本の経済発展を支えた  
優れたプロダクトデザインを紹介

夏

精神科医・高橋龍太郎による  
日本屈指の現代アートコレクション展

高橋コレクション展 (仮称)



草間彌生《かぼちゃ》1990年 アクリル、キャンバス 130×162cm  
©YAYOI KUSAMA Courtesy of KUSAMA Enterprise, Ota Fine Arts

7月16日(土)～9月25日(日)

4月16日(土)～6月12日(日)

平成28年度企画展

川島小鳥展 (仮称)

アートドキュメント 2016

高橋匡太 森のライトアートプロジェクト (仮称)



参考：高橋匡太《ひかりの森》スマートイルミネーション横浜 2011  
撮影：森日出夫

秋

あの「夢のたね」プロジェクト  
(2005)の作家が帰ってきます。

冬

木村伊兵衛写真賞(2014)を受賞した  
新進気鋭の写真家による写真展



川島小鳥 写真集「明星」より  
©Kotori Kawashima

2017年  
1月21日(土)～3月5日(日)

10月22日(土)～12月11日(日)

陶芸教室生 & ガラス講座生募集

陶芸教室

初心者から経験者まで、年齢を問わず大歓迎です。  
開催日以外でも施設の利用が可能で、マイペースで制作したい人にも最適です。一緒に陶芸を楽しみましょう！

期間：平成28年4月～平成29年3月(全10回講座)※8月、1月休講

講師：みのわ昌彦(1B・1C・3A・3Bクラス)  
松井勝彦・金津創作の森入居作家(2B・2Cクラス)  
陶芸指導員(3Cクラス)

受講料：1年/10講座 19,960円(税込)  
半年(前期4月～9月)/5講座 11,320円(税込)  
半年(後期10月～3月)/5講座 11,320円(税込)

粘土代：756円～/kg(消費税・焼成費・釉薬代込)

クラス区分	9:30～12:00	13:30～16:00	19:00～21:30
(第1週)木・金曜日	-	1B	1C
(第2週)木・金曜日	-	2B	2C
(第3週)木・金曜日	3A	3B	3C(基礎クラス)

[問い合わせ] TEL:73-7802 (創作工房)

吹きガラス講座

約1,200℃で溶けている柔らかいガラスに吹き竿で息を入れたり、さまざまな道具を使いながら形を作っていきます。

■水曜・木曜クラス 19:00～21:30  
3回コース 10,000円 10回コース 34,000円  
■土曜クラス 9:00～12:00  
3回コース 12,000円 10回コース 40,000円

キルン講座

電気炉でガラスを溶かし、造形する技法です。ゆっくりじっくり作業ができますので、初心者でも個性豊かな作品作りが楽しめます。

■土曜日 13:30～17:30  
全10回コース 30,000円

バーナー講座

とんぼ玉の基本的な作り方から装飾の技法、アクセサリに仕上げる方法などの応用技術まで学ぶことができます。

■日曜日 13:15～15:15  
4回コース 14,000円 12回コース 42,000円

[問い合わせ] TEL:73-7801 (ガラス工房)

○(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL:73-7800 <http://sosaku.jp/>

○アンビション(レストラン&森の結婚式)月曜休業(祝日の場合は翌平日休業) 問合せ アンビション TEL:73-4141



おばけになって鬼を追い払え！

◆2月6日(土) 芦原温泉街



仮装をして鬼を追い払う厄よけ行事「あわら節分おばけ」が開催されました。セントピアあわらには思い思いに仮装した人たちが集まり、赤鬼と青鬼が現れると「鬼は外」と叫びながら一斉に豆を投げつけ、鬼を追い払いました。

その後、仮装をした一行が各旅館を回ると、宿泊客は鬼たちに豆を投げつけ、にぎやかで一風変わった豆まきを楽しんでいました。

気軽に楽しくスポーツを

◆2月21日(日) トリムパークかなづ



ニュースポーツまつりを開催し、市民約50人が参加しました。参加者はチームに分かれ、スティックリングやユニホック、ラージボール卓球、ソフトバレーボール、ショートテニスの5種類の競技に挑戦。子どもから高齢者まで参加者同士が交流をしながら、楽しそうに体を動かしていました。

新幹線や人口減少対策に向けて

◆2月12日(金) 市役所



市の今後10年間のまちづくりの指針となる「第2次あわら市総合振興計画」。昨年からの計画案の検討を進めてきたあわら市総合振興計画審議会の吉田純一会長(福井工業大学教授)が橋本市長に「計画は妥当」と答申しました。

計画は3月下旬ごろに市のホームページで公表するほか、ダイジェスト版は広報あわら6月号に掲載します。

第3分団詰所が完成しました

◆2月14日(日) 吉崎



浜坂および吉崎区域を管轄するあわら消防団第3分団の詰所が移転新築されました。これは、今まで使用していた分団詰所が津波被害を受ける危険性が高いことから、移転したものです。

今後は津波の発生を気にすることなく消火・救助活動が実施できます。